

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-293591
(P2000-293591A)

(43) 公開日 平成12年10月20日 (2000. 10. 20)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 0 2	G 0 6 F 17/60	3 0 2 C
	3 1 4		3 1 4
	3 2 4		3 2 4
	5 0 4		5 0 4

審査請求 有 請求項の数 6 O L 公開請求 (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2000-197019(P2000-197019)
(22) 出願日 平成12年6月29日(2000. 6. 29)
(31) 優先権主張番号 特願平11-366105
(32) 優先日 平成11年12月24日(1999. 12. 24)
(33) 優先権主張国 日本 (J P)

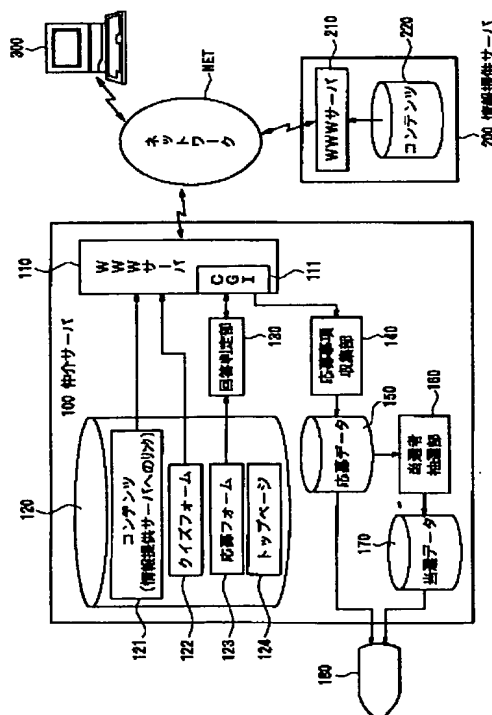
(71) 出願人 500004140
有限会社エム・エンタープライズ
埼玉県川越市仙波町3-16-13 ビジネス
パーク川越A-1
(72) 発明者 前野 篤
埼玉県川越市仙波町3-16-13 ビジネス
パーク川越A-1 有限会社エム・エンタ
ープライズ内
(74) 代理人 100069981
弁理士 吉田 精孝 (外1名)

(54) 【発明の名称】 懸賞応募システム

(57) 【要約】

【課題】 懸賞提供者にとって広告効果が高く且つ懸賞応募者にとって趣向性が高い懸賞応募システムを提供する。

【解決手段】 応募クライアント300に送信するコンテンツ121は各懸賞提供者の情報提供サーバ200へのリンクを有するとともに、懸賞応募用のクイズフォーム122は各懸賞提供者の懸賞に関わる質問及び該質問に対する回答入力を促す項目を設け、各質問に対する回答が所定の基準以上の正答率である場合には応募クライアント300に対して応募フォーム123を送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 懸賞提供者が有する情報提供サーバと、懸賞応募者が有する応募クライアントと、前記懸賞提供者と懸賞応募者との間で懸賞の応募を仲介する仲介サーバと、これらを接続するネットワークを備えた懸賞応募システムにおいて、

各情報提供サーバは、アクセスしてきた応募クライアントに対して懸賞に関する情報を提供する手段を備え、前記仲介サーバは、応募クライアントに対して各懸賞提供者の情報提供サーバへのリンクが含まれる情報を提供する手段と、応募クライアントに対して懸賞提供者に対応する質問を提示するとともに質問に対する回答の入力を促す手段と、入力された回答が所定基準以上の正答率となった場合に該応募クライアントに対して懸賞応募に必要な事項の入力を促す手段とを備えたことを特徴とする懸賞応募システム。

【請求項2】 複数の懸賞提供者にそれぞれ対応する複数の情報提供サーバを備えたことを特徴とする請求項1記載の懸賞応募システム。

【請求項3】 仲介サーバにおける前記情報提供の手段が応募クライアントに対して提供する情報は、懸賞提供者に関連する情報に基づき構成されたコンテンツを含むことを特徴とする請求項1又は2何れか1項記載の記載の懸賞応募システム。

【請求項4】 仲介サーバにおける前記情報提供の手段が応募クライアントに対して提供する情報は、懸賞提供者の名称或いは該懸賞提供者が有する商品又は役務の名称を含むとともに、この名称に情報提供サーバへのリンクが設定されていることを特徴とする請求項1又は2何れか1項記載の懸賞応募システム。

【請求項5】 仲介サーバにおける前記情報提供の手段が応募クライアントに対して提供する情報は、前記名称を単語として含む文章からなることを特徴とする請求項4記載の懸賞応募システム。

【請求項6】 仲介サーバは、情報提供の段階と質問提示及び回答入力の段階とを懸賞応募者からの選択により切り替える手段を有することを特徴とする請求項1乃至5何れか1項記載の懸賞応募システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットなどのコンピュータネットワークを利用して、懸賞提供者と懸賞応募者との間で懸賞の応募を仲介するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、商品・役務などの宣伝や知名度の向上等を目的として、企業等が一般公衆に懸賞を設定することが行われている。懸賞の実施方法としては、まず、懸賞の実施要領を新聞・雑誌・TVなどの各種メディアで広告する。懸賞応募者は、この広告をみて応募

する。この懸賞応募時には、住所・氏名等の所定事項のほか、必要に応じて希望商品や予め設定されたクイズの解答などを応募書類に記載し、この書類を懸賞提供者である企業に送付する。懸賞提供者は、所定期間内に受領した応募書類の中から所定の要件で当選者を決定し、この当選者に懸賞品を送付する。このような一連の流れにおいて、企業側としては広告宣伝効果及び消費者の情報を得ることができ、応募者側としては懸賞品を得ること又はその期待感を得ることができる。

【0003】ところで、近年の通信技術の発達に伴い、企業等の広告媒体としてインターネットなどのコンピュータネットワークを用いることが盛んになってきている。この結果、前述したような懸賞についても、ネットワークを介した告知及び応募が実施されている。具体的には、企業等のWebページの一面に、懸賞の実施要領及び懸賞応募用フォームを記載した懸賞応募用Webページを設けることにより懸賞を実施している。この方法では、企業側及び応募者側の双方にとって比較的低廉なコストで懸賞の実施が行えるという利点がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このようにインターネットのWebページを用いる方法では、消費者側から企業のWebページにアクセスするという積極的な行為が必要である。したがって、各種の懸賞応募に積極的な消費者は、どの企業が懸賞を実施しているかという情報を得るために、あらゆる企業のWebページを閲覧するという大きな手間を必要としていた。

【0005】そこで、種々の企業等のWebページにおいて懸賞を実施していることに着目して、当該企業を紹介する懸賞応募者のためのWebページが登場してきている。このWebページでは、懸賞提供企業及び懸賞品等の項目がリストアップされており、それぞれの項目には当該企業が設けている懸賞応募用Webページへのリンクが設けられている。応募者は、このWebページを閲覧して、どのような懸賞が実施されているかを知ることができる。そして応募者は、希望する懸賞提供企業へのリンクをたどることにより懸賞応募用Webページを閲覧し、懸賞応募を行う。このようなWebページにより、消費者側としては、懸賞応募が容易になるという利点がある。

【0006】一方、懸賞を実施する企業側としては、Webページを利用した実施は、宣伝広告効果が他のメディアと比較して小さい場合が多いという欠点があった。これは、前述したように、消費者側から企業のWebページにアクセスするという積極的な行為が必要であるためである。また、上記の懸賞応募者のためのWebページが存在することにより、自企業のWebページへの訪問回数（ヒットカウント）の向上も期待できるが、これは当該懸賞応募用Webページへの訪問回数に依るものである。この懸賞応募用Webページへの訪問回数は、主

としてそのWebページの趣向性に依るところが大きい。

【0007】本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、懸賞提供者にとって広告効果が高く且つ懸賞応募者にとって趣向性が高い懸賞応募システムを提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1の発明では、懸賞提供者が有する情報提供サーバと、懸賞応募者が有する応募クライアントと、前記懸賞提供者と懸賞応募者との間で懸賞の応募を仲介する仲介サーバと、これらを接続するネットワークを備えた懸賞応募システムにおいて、各情報提供サーバは、アクセスしてきた応募クライアントに対して懸賞に関する情報を提供する手段を備え、前記仲介サーバは、応募クライアントに対して各懸賞提供者の情報提供サーバへのリンクが含まれる情報を提供する手段と、応募クライアントに対して懸賞提供者に対応する質問を提示するとともに質問に対する回答の入力を促す手段と、入力された回答が所定基準以上の正答率となった場合に該応募クライアントに対して懸賞応募に必要な事項の入力を促す手段とを備えたことを特徴とするものを提案する。

【0009】本発明によれば、懸賞応募者が懸賞に応募する際には、まず応募クライアントを仲介サーバに接続する。仲介サーバに接続すると、複数の懸賞提供者にそれぞれ対応する懸賞応募用の質問が提示されるとともに質問に対する回答の入力が促される。懸賞応募者はこれに対して回答し、その正答率が所定基準以上であれば、懸賞応募に必要な事項の入力が可能となる。

【0010】このように、懸賞応募者が懸賞に応募する際には、仲介サーバから出された質問に対して所定基準以上の正答率を達成する必要があるため、懸賞応募者にとって趣向性の高いものとなる。また、仲介サーバからは懸賞提供者の情報提供サーバへのリンクを含む情報が提供され、情報提供サーバからは懸賞に関する情報が提供されるので、リンクをたどって懸賞提供者の情報提供サーバにアクセスすることで、質問回答に必要な情報を得ることができる。

【0011】一方、懸賞提供者にとっては、前述した高い趣向性により、仲介サーバからリンクをたどって自己の情報提供サーバにアクセスしてくる懸賞応募者の増大が期待できる。したがって、情報提供サーバを用いた広告宣伝効果が期待できる。

【0012】また、請求項2の発明では、請求項1記載の懸賞応募システムにおいて、複数の懸賞提供者にそれぞれ対応する複数の情報提供サーバを備えたことを特徴とするものを提案する。

【0013】本発明によれば、懸賞応募者にとっては、一つの仲介サーバに接続するだけで複数の懸賞提供者に対する懸賞の応募を行うことができるので利便性が高い

ものとなる。

【0014】また、請求項3の発明では、請求項1又は2何れか1項記載の記載の懸賞応募システムにおいて、仲介サーバにおける前記情報提供の手段が応募クライアントに対して提供する情報は、懸賞提供者に関連する情報に基づき構成されたコンテンツを含むことを特徴とするものを提案する。

【0015】本発明によれば、懸賞提供者に関連する情報に基づき構成されたコンテンツが応募クライアントに対して提供されるので、さらに趣向性の高いものとなる。

【0016】さらに、請求項4の発明では、請求項1又は2何れか1項記載の懸賞応募システムにおいて、仲介サーバにおける前記情報提供の手段が応募クライアントに対して提供する情報は、懸賞提供者の名称或いは該懸賞提供者が有する商品又は役務の名称を含むとともに、この名称に情報提供サーバへのリンクが設定されていることを特徴とするものを提案する。

【0017】本発明によれば、懸賞提供者の名称或いは該懸賞提供者が有する商品又は役務の名称が応募クライアントに対して提供されるので、懸賞提供者にとって高い宣伝広告効果が期待できる。なお、ここで懸賞提供者の名称には、懸賞提供者の通称・略称・愛称・俗称などが含まれるものとし、また懸賞提供者が個人の場合にはその個人名・芸名・筆名・通称・愛称・俗称なども含まれるものとする。同様に、商品又は役務の名称には、その通称・略称・愛称・俗称などが含まれるものとする。

【0018】さらに、請求項5の発明では、請求項4記載の懸賞応募システムにおいて、仲介サーバにおける前記情報提供の手段が応募クライアントに対して提供する情報は、前記名称を単語として含む文章からなることを特徴とするものを提案する。

【0019】本発明によれば、懸賞提供者の名称或いは該懸賞提供者が有する商品又は役務の名称を単語して含む文章中が応募クライアントに対して提供されるので、懸賞応募者にとって、より趣向性の高いものとなる。

【0020】さらに、請求項6の発明では、請求項1乃至5何れか1項記載の懸賞応募システムにおいて、仲介サーバは、情報提供の段階と質問提示及び回答入力の段階とを懸賞応募者からの選択により切り替える手段を有することを特徴とするものを提案する。

【0021】本発明によれば、懸賞応募者が質問に対する回答の際に、必要に応じて懸賞提供者の情報提供サーバへのリンクを含む情報を参照し、さらにリンクをたどって情報提供サーバにアクセスできるので、懸賞応募者にとって利便性が向上する。一方、懸賞提供者にとっては、自情報提供サーバへのアクセス頻度が増加するので、より高い宣伝効果が期待できる。

【0022】

【発明の実施の形態】（第1の実施の形態）本発明の第

1の実施の形態にかかる懸賞応募システムについて図面を参照して説明する。図1は懸賞応募システムの構成図である。

【0023】この懸賞応募システムは、懸賞を提供する一又は複数の懸賞提供者と懸賞に応募する懸賞応募者との間を仲介するシステムであり、当該仲介を行う仲介サーバ100と、懸賞提供者が有する情報提供サーバ200と、懸賞応募者が有する応募クライアント300と、これらを接続するネットワークNETとから構成される。ここで、情報提供サーバ200は、懸賞提供者に対応して一又は複数備えられている。本実施の形態では懸賞提供者が複数ある場合について説明する。

【0024】ネットワークNETは、各コンピュータ間で通信可能に接続するものであればよく、そのプロトコル等の種別は問わない。すなわち、例えばコネクション型通信・コネクションレス型通信の何れでもよく、また物理的な通信形態も無線・有線の何れでもよい。さらに、特定の者のみが使用する専用ネットワークであっても、インターネットのように広く一般に開放されているネットワークであってもよい。本実施の形態では、ネットワークNETとして、TCP/IPを使用したパケット通信網であるインターネットを用いた。

【0025】仲介サーバ100は、ネットワークNETからの表示要求に対してデータを送信するWWW(World Wide Web)サーバ110を備えている。このWWWサーバ110は、応募クライアント300とのインタフェースであり、応募クライアント300から表示要求があると表示データ記憶装置120に記憶された各種表示データを要求元に対して送信する。WWWサーバ110から送信される表示データは、データ中にリンクの記述が可能ないわゆるハイパーテキストである。本実施の形態では、HTML(Hyper Text Markup Language)文書を用いた。また、WWWサーバ110はインタフェースとしてCGI(Common Gateway Interface)111を備えている。

【0026】表示データ記憶装置120には、コンテンツ121・クイズフォーム122・応募フォーム123・トップページ124などの表示データが記憶されている。本実施の形態では、これらの表示データはハイパーテキストの一種であるHTMLで記述した。

【0027】コンテンツ121には、各懸賞提供者が有する情報提供サーバ200へのリンクの記述が含まれる。したがって、当該コンテンツ121を受け取った懸賞応募者は、コンテンツ121に含まれるリンクをたどることにより、容易に情報提供サーバ200に接続して該サーバから情報を取得できる。また、コンテンツ121は、各懸賞提供者に関連する情報に基づき構成されている。例えば、懸賞提供者の名称・愛称・氏名・ロゴや、懸賞提供者が提供する商品・役務の名称・愛称・ロゴなどが含まれる。コンテンツ121の情報形態として

は、文字情報だけでなく、静止画・動画などの画像情報、音楽・音声などの音情報、これらを組み合わせたものであってもよい。さらに、コンテンツ121は、各懸賞提供者ごとに独立して情報を構成してもよく、全体として一体とした情報となるように構成してもよい。例えば、一つの物語の文章中にキーワードとして複数の懸賞提供者の名称や商品名を埋め込み、そのキーワードに当該懸賞提供者へのリンクを設定すると好適である。さらに、このコンテンツ121は、一つの文書等により構成してもよく、複数の文書等により構成するとともに各文書間をそれぞれリンクで関連づけるように構成してもよい。

【0028】クイズフォーム122には、各懸賞提供者が提供する懸賞に対する質問及び該質問に対する回答入力を促す情報が含まれる。このクイズフォーム122を応募クライアント300に対して送信することにより、懸賞応募者に対して前記質問が提示される。また、クイズフォーム122は、応募クライアント300において懸賞応募者の入力した回答が、WWWサーバ110のCGI111を介して回答判定部130に送信されるように記述されている。

【0029】応募フォーム123は、懸賞応募者が入力した回答が所定の基準以上の正答率である場合にのみ応募クライアント300に対して送信されるものである。この応募フォーム123には、懸賞応募に必要な事項の入力を促す情報が含まれる。具体的には、例えば懸賞応募者の氏名・住所・希望商品などの入力を促す情報が含まれる。この応募フォーム123を応募クライアント300に対して送信し、懸賞応募者が応募事項の入力を行うと、当該応募事項がWWWサーバ110のCGIを介して応募事項収集部140に送信される。

【0030】トップページ124は、本懸賞応募システムを利用する懸賞応募者に対して最初に送信する情報である。このトップページ124には、前記コンテンツ121及びクイズフォーム122へのリンク情報が含まれる。

【0031】回答判定部130は、前記クイズフォーム122に対応して応募クライアント300から送信された回答情報をCGI111を介して受信し、この回答情報に基づき回答の正否を判定する。判定の結果、所定基準以上の正答率である場合には、表示データ記憶装置120から応募フォーム123を取り出し、CGI111を介して応募クライアント300に送出する。正答率が所定基準に満たない場合には、必要に応じてその旨を表示する情報を応募クライアント300に送出したり、クイズフォーム122へのリンクを含む情報を応募クライアント300に送出する。本実施の形態では、正答率の基準を「全問正解」とした。

【0032】応募事項収集部140は、前記応募フォーム123に対応して応募クライアント300から送信さ

れた応募事項に関する情報をCGI111を介して受信し、この応募事項情報を応募データ記憶装置150に記憶する。なお、この応募データ記憶装置150に蓄積されるデータは、前記クイズフォーム122における回答が所定基準以上の回答率となった懸賞応募者に関するもののみとなる。

【0033】応募データ記憶装置150に蓄積された応募データは、当選者抽選部160において所定条件でもって当選者が決定され、決定された当選者データは当選データ記憶装置170に記憶される。

【0034】また、応募データ記憶装置150及び当選データ記憶装置170に記憶されたデータは、出力装置180により出力可能となっている。これにより、仲介サーバ100の管理者は、懸賞応募者のデータ及び当選者のデータを確認できる。

【0035】一方、各懸賞提供者の情報提供サーバ200は、応募クライアント300とのインタフェースであるWWWサーバ210と、WWWサーバ210を介して応募クライアント300に提供する情報が記憶された記憶装置220とを備えている。これにより応募クライアント300からの送信要求に基づき記憶装置220からコンテンツが当該応募クライアント300に送信される。ここで、記憶装置220に記憶されているコンテンツには懸賞に関わる事項が含まれる。詳しくは、前記クイズフォーム122において提示する質問に対して、その回答又は当該回答を示唆する事項或いは当該回答を導き出すことができる事項が含まれる。前記仲介サーバ100のコンテンツ121には、この記憶装置220のコンテンツへのリンクが含まれる。また、このコンテンツは一つの文書だけに限られず複数の文書で構成されていてもよい。例えば、仲介サーバ100のコンテンツ121に含まれるリンク先には、懸賞に関わる事項が含まれないが更にリンクをたどることにより懸賞に関わる事項が表示されるように構成してもよい。

【0036】応募クライアント300は、仲介サーバ100及び情報提供サーバ200に対して情報送信要求を送信するとともに、要求に対して送信された情報を表示する表示手段を備えている。この表示手段は、一般にブラウザと呼ばれるハイパーテキスト表示装置（図示省略）からなる。このハイパーテキスト表示装置では、表示内容にリンクが含まれる場合に、このリンクをたどって新たな情報送信要求を送信し、この新たな情報を表示することができる。また、表示内容に情報入力用の項目が含まれる場合には、操作者が入力した内容を指定されたサーバに送出する機能を有している。

【0037】このような懸賞応募システムにおける懸賞応募の流れについて図2のフローチャートを参照して説明する。図2は懸賞応募の流れを説明するフローチャートである。

【0038】まず、懸賞応募者が仲介サーバ100のト

ップページ124のアドレスを示す情報を応募クライアント300に対して入力すると、当該トップページ124が仲介サーバ100から応募クライアント300に対して送信され、応募クライアント300のブラウザに表示される（ステップS1）。なお、前記アドレスを示す情報は、インターネットではURL（Uniform Resource Location）と呼ばれている。

【0039】懸賞応募者がコンテンツ121へのリンク又はクイズフォーム122へのリンクを選択すると、応募クライアント300から送信要求が行われ、応募クライアント300にコンテンツ121又はクイズフォーム122が表示される（ステップS2、S3）。

【0040】応募クライアント300がコンテンツ121を表示した場合には、当該コンテンツ121には懸賞提供者の情報提供サーバ200へのリンクが含まれているので、懸賞応募者は必要に応じて当該リンクをたどり情報提供サーバ200から情報の取得が可能である（ステップS4、5）。

【0041】応募クライアント300がクイズフォーム122を表示した場合には、懸賞応募者はクイズフォーム122に提示されている質問に対して、回答を入力し、これを仲介サーバ100に送信する。ここで、懸賞応募者が回答に必要な情報を得たい場合には、一旦コンテンツ121を表示させ、該コンテンツ121に含まれるリンクをたどり情報提供サーバ200にアクセスすればよい。なお、クイズフォーム122とコンテンツ121と表示を切り替えるために、それぞれに予めリンクを設けておくことと好適である。

【0042】仲介サーバ100は、クイズフォーム122で入力された回答情報を応募クライアント300から受信すると、回答判定部130が回答の正否を判定する（ステップS6）。判定の結果、回答率が所定基準（ここでは全問正答）以上である場合には、応募クライアント300に対して応募フォーム123を送信する。所定基準に満たない場合には、再びクイズフォーム122を送信する。

【0043】応募クライアント300が応募フォーム123を表示した場合には、懸賞応募者は必要な応募事項を入力し、これを仲介サーバ100に送信する（ステップS7）。

【0044】仲介サーバ100は、応募フォーム123で入力された応募事項を応募クライアント300から受信すると、応募事項収集部140が当該データを応募データ記憶装置150に収集・蓄積する（ステップS8）。

【0045】以上のステップにより、懸賞応募者による懸賞の応募が完了する。そして、懸賞応募期間が終了した後に、仲介サーバ100の当選者抽選部160により応募者データの中から当選者を抽選する（ステップS9）。当選データは、当選データ記憶装置170に記憶

される。仲介サーバ100の管理者は、適応応募データ記憶装置150及び当選データ記憶装置170から応募データ及び当選データを取り出し、必要に応じて出力装置180に出力することができる。仲介サーバ100の管理者は、当該データに基づき懸賞に関する手続きを行えばよい。

【0046】次に、この懸賞システムのさらに具体的な一例について図3～図6を参照して説明する。図3はトップページの画面構成を説明する図、図4はコンテンツの画面構成を説明する図、図5はクイズフォームの画面構成を説明する図、図6は応募フォームの画面構成を説明する図である。

【0047】ここでは、仲介サーバ100から送出されるデータがフレーム機能を有するHTML文書からなるものとし、また応募クライアント300のブラウザがフレーム機能に対応しているものとする。図3～図6においては、当該フレーム機能を用いて、画面を左右に分割するフレーム線401を基準として、左側のフレーム402には各ページへのリンクが記述されたインデックスページ410を表示し、右側のフレーム403にはコンテンツ121、クイズフォーム122等を表示させるものとする。

【0048】インデックスページ410には、トップページ124を右側のフレーム403に表示させるためのリンクが関連づけてあるアイコン411、同様にコンテンツ121を表示させるためのリンクが関連づけてあるアイコン412、クイズフォーム122を表示させるためのリンクが関連づけてあるアイコン413が配置されている。このインデックスページ410は、トップページ124・コンテンツ121・クイズフォーム122等が右側のフレーム403に表示されている段階であっても、左側のフレーム402に表示される。このインデックスページ410により、懸賞応募者はコンテンツ121やクイズフォーム122などの表示切替を容易に行うことができる。

【0049】トップページ124には、図3に示すように、懸賞応募システムのタイトルが配置されている他、コンテンツ121を表示させるためのリンクが関連づけてあるアイコン124aが配置されている。懸賞応募者が当該アイコン124aをクリックすると右側のフレーム403にはコンテンツ121が表示される。

【0050】コンテンツ121には、図4に示すように、テキストデータ121aが配置されている。図4において、テキストデータ121a中の太文字で且つ下線が伏してあるテキスト121bには懸賞提供者の情報提供サーバ200へのリンクが設定されている。具体的には、懸賞提供者である「A社」・「B社」及び懸賞提供者の商品等である「X」・「Y」というテキストにリンクが設定されている。懸賞応募者が当該テキスト121bをクリックすると、画面全体又は右側のフレーム40

3或いは別画面全体に情報提供サーバ200から送信されたコンテンツが表示される。また、このテキストデータ121aは、リンクが設定されているテキスト121bを含むようにして構成された物語形式となっている。さらに、コンテンツ121には、トップページ124へのリンクが関連づけてあるアイコン121c、クイズフォーム122へのリンクが関連づけてあるアイコン121dが配置されている。

【0051】クイズフォーム122には、図5に示すように、質問122a及び該質問に対する回答入力欄122bが各懸賞提供者に対応して複数配置されている。質問122aの内容は、懸賞に関する事項である。この質問の難易度は、懸賞の目的や懸賞提供者の目的等にあわせて設定するのが好ましい。例えば、一般的に判断して通常は正答が困難であり且つ情報提供サーバ200のコンテンツ211を参照すれば正答できる程度に設定する。また、クイズフォーム122には、回答入力欄122bに入力された回答情報を仲介サーバ100に送信するための送信ボタン122cが配置されている。懸賞応募者が回答入力欄122bに回答を入力した後に、この送信ボタン122cを押下すれば、回答情報が仲介サーバ100に送信される。仲介サーバ100の回答判定部130では、受信した回答情報に基づき回答の正否を判定し、回答が所定の基準以上の正答率である場合には、応募フォーム123を応募クライアント300に送信する。

【0052】応募フォーム123には、図6に示すように、懸賞応募に必要な事項を入力するための応募事項入力欄123aが配置されている。具体的な応募事項としては、例えば懸賞応募者の住所・氏名等である。また、応募フォーム123には、応募事項入力欄123aに入力された応募事項情報を仲介サーバ100に送信するための送信ボタン123bが配置されている。懸賞応募者が応募事項入力欄123aに応募事項を入力した後に、この送信ボタン123bを押下すれば、応募事項情報が仲介サーバ100に送信される。仲介サーバ100の応募事項収集部140では、受信した応募事項情報を応募データ記憶装置150に記憶する。

【0053】このような懸賞応募システムによれば、懸賞応募者にとっては、一つの仲介サーバ100に接続するだけで複数の懸賞提供者に対する懸賞の応募を行うことができるので利便性が高いものとなる。また、複数の懸賞提供者に対する質問に対して所定基準以上の正答率を達成する必要があるため、趣向性の高いものとなる。さらに、仲介サーバ100からは各懸賞提供者の情報提供サーバ200へのリンクを含む情報が提供され、各情報提供サーバ200からは各懸賞に関する情報が提供されるので、リンクをたどって各懸賞提供者の情報提供サーバ200にアクセスすることで、質問回答に必要な情報を得ることができる。さらに、仲介サーバから提供さ

れる情報は、懸賞提供者に関連する情報に基づき構成されたコンテンツであるので、より趣向性の高いものとなる。特に、前記具体例のように該コンテンツが物語を構成すると、さらに趣向性が高いものとなる。

【0054】一方、懸賞提供者にとっては、このような高い趣向性により、仲介サーバ100からリンクをたどって自己の情報提供サーバ200にアクセスしてくる懸賞応募者の増大が期待できる。したがって、情報提供サーバ200を用いた広告宣伝効果が期待できる。具体的には、企業等のWebページでは、広告宣伝を目的として各種情報が公開されていても消費者の興味を惹くことができず閲覧回数が少ないページがある。そこで、仲介サーバ100で懸賞応募者に提示する質問内容として、懸賞提供者が懸賞応募者に閲覧してもらいたいページを参照しなければ回答が困難なものを設定することにより、Webページによる宣伝広告効果を向上させることができる。

【0055】(第2の実施の形態) 本発明の第2の実施の形態にかかる懸賞応募システムについて図7及び図8を参照して説明する。図7及び図8は第2の実施の形態にかかる懸賞応募システムの画面構成を説明する図である。

【0056】本実施の形態にかかる懸賞応募システムが前述した第1の実施の形態にかかる懸賞応募システムと相違する点は、仲介サーバ100から応募クライアント300に送出する情報内容にある。この情報内容の相違により、応募クライアント300のブラウザに表示される画面構成が異なるものとなる。以下、その相違点について説明する。なお、仲介サーバ100などの装置構成については第1の実施の形態と同様なので説明を省略する。

【0057】ここでは、第1の実施の形態と同様に、仲介サーバ100から送出されるデータがフレーム機能をもつHTML文書からなるものとし、また応募クライアント300のブラウザがフレーム機能に対応しているものとする。図7及び図8においては、当該フレーム機能を用いて、画面を上下に分割するフレーム線501を基準として、上側のフレーム502には仲介サーバ100から送信されるコンテンツ511などを、下側のフレーム503にはクイズフォーム512などを表示させるものとする。

【0058】コンテンツ511を表示させる際には、図7に示すように、該コンテンツ511を上側のフレーム502に表示させるとともに、クイズフォーム512を下側のフレーム503に表示させる。ここでコンテンツ511には、第1の実施の形態と同様に、テキストデータ511a中のテキスト511bに各懸賞提供者の情報提供サーバ200へのリンクが設定されている。ここで、懸賞応募者がテキスト511bを選択すると、図8に示すように、該テキスト511bに設定されているリ

ンク先の情報提供サーバ200から送信されたコンテンツ513が上側のフレーム502に表示される。このとき、下側のフレーム503にはクイズフォーム512が表示されたままとっている。

【0059】クイズフォーム512には、質問512a及び該質問に対する回答入力欄512bが配置されている。この質問512a及び回答入力欄512bは、一の懸賞提供者に対応して構成されている。他の懸賞提供者に対応した質問提示及び回答入力を行うには、クイズフォーム512の下部に設けられた複数のアイコン512cを選択する。このアイコン512cを選択することにより、各アイコン512cに対応した質問512aが提示される。なお、アイコン512cを選択して質問512aの表示内容を変更しても、上側のフレーム501内の表示内容は変更されない。さらに、クイズフォーム512には送信ボタン512dと、回答正否表示部512eが配置されている。この送信ボタン512dが押下されると、回答入力欄512bに入力した回答情報が仲介サーバ100に送信される。仲介サーバ100の回答判定部130では、受信した回答情報に基づき回答の正否を判定し、回答が所定の基準以上の正答率（ここでは全問正解）である場合には、応募フォームを応募クライアントに送信し、所定の基準未満の正答率である場合には、各質問毎の正否情報を応募クライアント300に送出する。応募クライアント300では、受信した正否情報が回答正否表示部512eに表示される。図7及び図8では第1、2、4問の回答が正解であることを示している。なお、このクイズフォーム512の具体的な実装方法の一例としては、JavaScriptやJava Appletなどが挙げられる。

【0060】このような懸賞応募システムでは、仲介サーバ100のコンテンツ511及び情報提供サーバ200のコンテンツ513と、クイズフォーム512とが同一画面上に表示されるので、懸賞応募者にとって利便性の高いものとなる。また、回答正否表示部512eにより各懸賞提供者に対応する複数のクイズに対して、各回答の正否が質問毎に表示されるので、さらに趣向性の高いものとなる。その他の作用・効果については第1の実施の形態と同様である。

【0061】以上、本発明の実施の形態について説明したが、本発明はこれに限定されるものではない。本発明の範囲は特許請求の範囲によって示されており、特許請求の範囲の意味の中に入るすべての変形例は本発明に含まれるものである。

【0062】例えば、第1及び第2の実施の形態では、仲介サーバ及び情報提供サーバから応募クライアントに提供する情報としてHTML文書を例示したが、ハイパーリンクを設定することができるものであれば他の形式のものであってもよい。すなわち、HTMLを包含するものであるSGML、XMLなどによっても本発明を実

施できる。

【0063】また、第1及び第2の実施の形態では、仲介サーバから応募クライアントに提供する情報の具体例としてテキストデータを例示したが、他の形式であってもよい。例えば、動画・静止画などの画像情報、音楽・音声などの音情報などの他の形式であってもよい。さらに、具体例においては、応募クライアント300に提示する情報を一つのWebページであるコンテンツ121、511により構成したが、複数のページにわたって構成してもよい。同様に、具体例においては、応募クライアント300質問を提示するとともに回答の入力を促すために一つのWebページであるクイズフォーム122、512を送信したが、複数のWebページにわたって構成してもよい。

【0064】さらに、第1及び第2の実施の形態では、クイズフォーム122で所定の基準以上の正答率である場合、ただちに応募フォーム123を送信し、応募に必要な事項の入力を促すようにしたが、いったん第2のクイズフォーム601（図9参照）を送信してもよい。そして、この第2のクイズフォーム601に正答した場合に応募フォーム123を送信するようにしてもよい。この場合、第2のクイズフォーム601には、既に送信済みのクイズフォーム122では懸賞に関する質問を行っていることを考慮して、懸賞又は懸賞提供者に無関係の事項を質問とすると趣向性が高い。例えば、コンテンツ121において「物語」を提示した場合に、この物語の内容に関する事項（例えば、物語を推理小説にした場合の犯人の名前）などを質問にすることなどが考えられる。

【0065】さらに、第1及び第2の実施の形態では、応募フォーム123において懸賞応募に必要な事項を入力し仲介サーバ100に送信するように構成したが、図10の応募フォーム602に示すように、懸賞応募事項とともに、更にクイズを提示し、その回答の入力を促すようにしてもよい。すなわち、応募フォーム602は、応募事項入力欄602aと、質問602bと、該質問に対する回答を入力する回答入力欄602cとを配置する。ここで入力された回答情報は、他の応募事項と同様に応募データ記憶装置150に記憶される。これにより、当選者抽選部160において、当選者の選択時に当該質問の回答情報を用いることができる。

【0066】さらに、第1の及び第2の実施の形態では、複数の懸賞提供者に対応して複数の情報提供サーバ200を備えているが、本発明はこれに限定されるものではない。複数の懸賞提供者が共通の情報提供サーバ200を使用する場合や、一の懸賞提供者が一の情報提供サーバ200を使用する場合、一の懸賞提供者が複数の情報提供サーバ200を使用する場合などであってもよい。

【0067】さらに、第1及び第2の実施の形態では、

仲介サーバによって蓄積された応募データ及び当選データを出力装置により表示できるようにしたが、これらデータは表示だけでなく各種用途に活用することができる。以下に図11を参照して他の例にかかる仲介サーバについて説明する。図11に他の例にかかる仲介サーバの構成図を示す。また、図11においては、前述した仲介サーバと同一の要素については同一の符号を付して、その説明は省略する。

【0068】この仲介サーバ100aが前述した仲介サーバ100と相違する点は、応募データ記憶装置150及び当選データ記憶装置170に記憶されているデータを、懸賞提供者に対して送信するデータ送信部190を備えている点にある。具体的には、データ送信部190は、メール機能を用いて懸賞提供者のメールアドレスに対してデータを送信する。データの送信の時期は任意に設定することができる。具体的には、定期的に行っても、懸賞応募期間が終了した後に行ってもよい。このような仲介サーバ100aによれば、懸賞提供者は懸賞応募者及び当選者のデータを得ることができるので、マーケティングなどに活用することができる。

【0069】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明にかかる懸賞応募システムによれば、懸賞応募者が懸賞に応募する際には、仲介サーバから出された質問に対して所定基準以上の正答率を達成する必要があるため、懸賞応募者にとって趣向性の高いものとなる。また、仲介サーバからは懸賞提供者の情報提供サーバへのリンクを含む情報が提供され、情報提供サーバからは懸賞に関する情報が提供されるので、リンクをたどって懸賞提供者の情報提供サーバにアクセスすることで、質問回答に必要な情報を得ることができる。

【0070】一方、懸賞提供者にとっては、前述した高い趣向性により、仲介サーバからリンクをたどって自己の情報提供サーバにアクセスしてくる懸賞応募者の増大が期待できる。したがって、情報提供サーバを用いた広告宣伝効果が期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施形態にかかる懸賞応募システムの構成図

【図2】第1の実施形態にかかる懸賞応募の流れを説明するフローチャート

【図3】第1の実施形態にかかるトップページの画面構成を説明する図

【図4】第1の実施形態にかかるコンテンツの画面構成を説明する図

【図5】第1の実施形態にかかるクイズフォームの画面構成を説明する図

【図6】第1の実施形態にかかる応募フォームの画面構成を説明する図

【図7】第2の実施形態にかかる懸賞応募システムの画

面構成を説明する図

【図8】第2の実施形態にかかる懸賞応募システムの画面構成を説明する図

【図9】他の例にかかる第2のクイズフォームの画面構成を説明する図

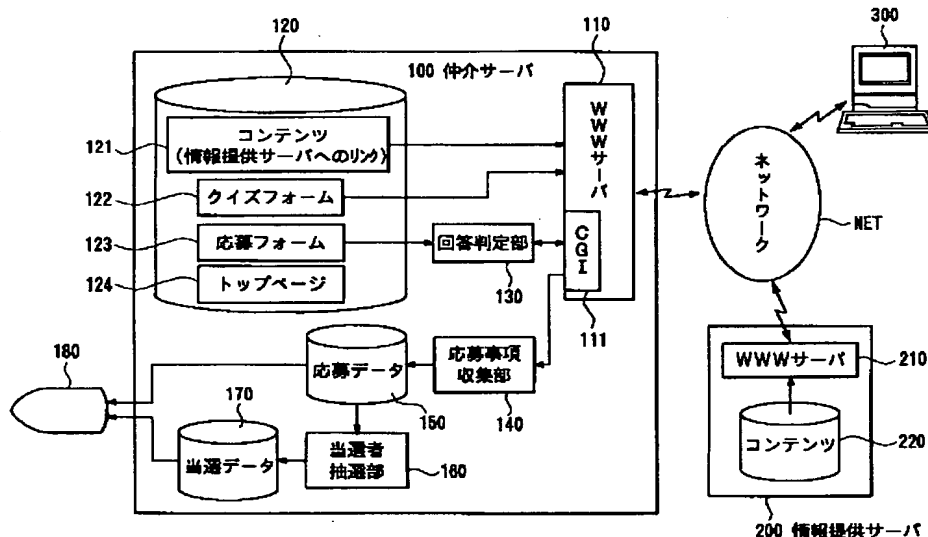
【図10】他の例にかかる応募フォームの画面構成を説明する図

【図11】他の例にかかる仲介サーバの構成図

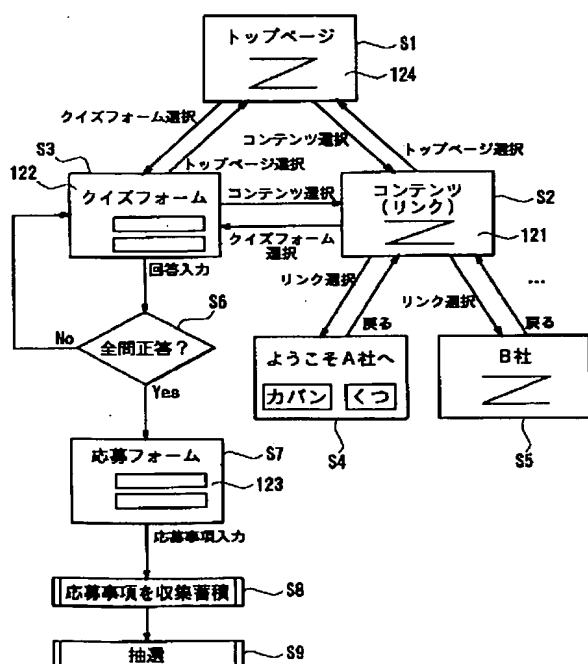
【符号の説明】

100…仲介サーバ、110…WWWサーバ、111…CGI、120…表示データ記憶装置、121…コンテンツ、122…クイズフォーム、123…応募フォーム、124…トップページ、130…回答判定部、140…応募事項収集部、150…応募データ記憶装置、160…当選者抽選部、170…当選データ記憶装置、180…出力装置、200…情報提供サーバ、300…応募クライアント

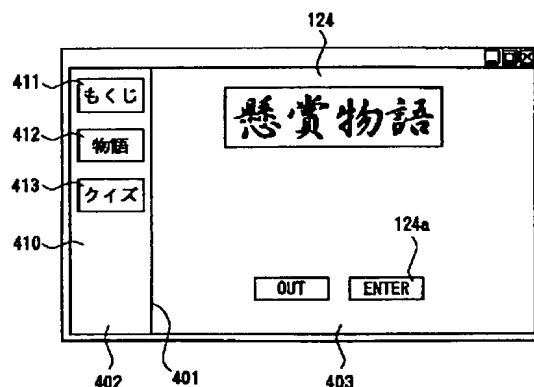
【図1】



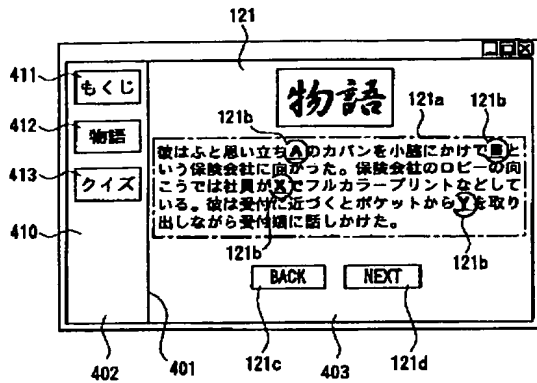
【図2】



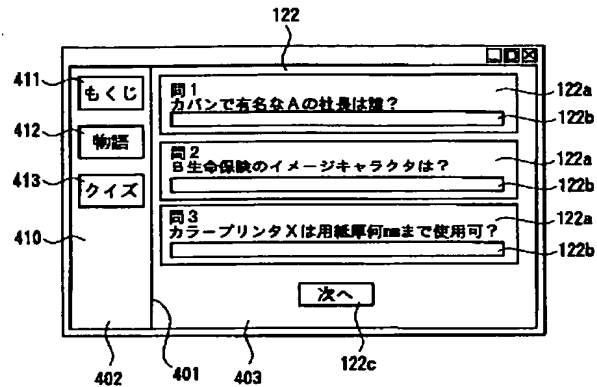
【図3】



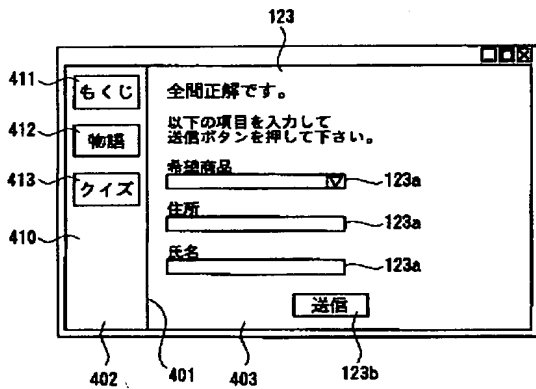
【図 4】



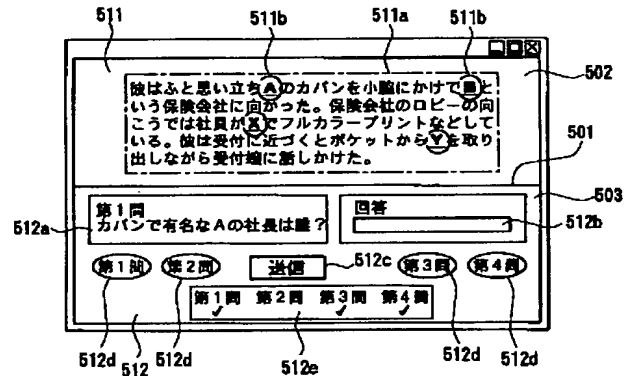
【図 5】



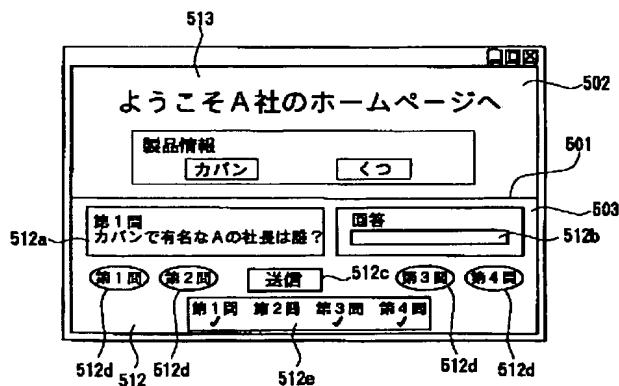
【図 6】



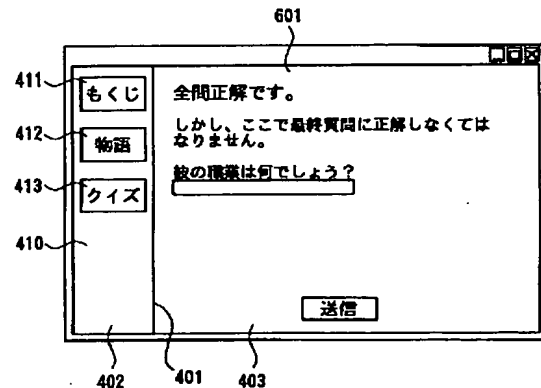
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図10】

【図11】

